

看護師の再就業を支援しています



院内保育園、技術研修の様子

看護師不足が叫ばれており、結婚や育児などで離職した人に、もう一度看護の現場に復帰してもらおうと、再就業支援が全国で広がっています。旭中央病院でも再就業を支援しています。

旭中央病院の体制

再就業を考えている人への就業相談や研修機会の提供、看護師として活躍する人のキャリアアップ支援など、さまざまなサポート体制を整えています。

再就業支援研修では、スムーズな復職を支援するためのプログラムを用意しています。入職後は、プリセプター（新人の教育・指導を行う看護師）が個別のプログラムに沿って指導に当たるほか、看護部教育委員による定期的なフォローアップも行っています。また休日・夜間も利用可能な院内保育園を設置しており、育児短時間勤務や部

分休業制度も利用できます。

〈再就業支援研修の一例〉

電子カルテ講習／電子カルテ（情報、看護）の操作

基礎知識・看護技術研修／採血
静脈内注射、吸引・酸素投与、
導尿・尿道留置カテーテル

〈中途採用者の支援体制〉

入職時／キャリアに合わせ、クリニカルラダー（看護師の段階的なキャリア開発プラン）決定
配属時／3か月ごとの到達目標を決定し、科別の知識・技術習得を支援

3か月・6か月・1年／教育委員によるフォローアップ

※くわしい内容は、病院ホームページ（<http://www.kango-bu.jp/>）で確認できます。

気軽に相談を

「子育てしながら働きたい」「ブランクがあるから不安」といった心配や悩みなど、各種相談も受け付けています。まずは気軽に問い合わせてください。

問い合わせ先

旭中央病院看護管理室

☎0120・314043

✉kangobu@hospital.asahi-chiba.jp

来たる「超高齢化社会」
看護・介護職の不足
が社会問題です

急速に高齢化が進行しており、国民の4人に1人が65歳以上といわれています。国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口」によると、今後さらに高齢化が加速し、団塊の世代が75歳以上となる2025年には、65歳以上の人口が3、657万人に達し、医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれています。

この超高齢化社会に向けた医療・介護の需要に対応するためには、現在およそ150万人いる看護師は、2025年には現在より50万人多い、200万人が必要との試算があります。

一方で少子化の進展により、今後新たに看護師を志す若年世代が減少していくことが予想され、医療がますます高度化・専門化していく中で、人材確保が喫緊の課題となっています。当地域でも慢性的な看護師不足の現状があり、今後、看護師の人材確保が進まなければ、地域における看護・介護サービスの質の低下が危惧されます。